

環境調査結果のお知らせ

令和4年3月17日午前に浦戸湾及び鏡川で環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温、塩分及び溶存酸素(表1～3)並びに水深

水温は16.3～18.2℃、塩分は21.6～33.7、溶存酸素は溶存酸素量は6.3～14.8 mg/Lでした。

なお、調査時点における水深は、鏡川大橋下が1.3m、わんぱーくこうち前岸壁が7.6m、南高校前岸壁が4.9mであり、月の瀬橋下及び神田川合流点では0.5m未満でした。

プランクトン(表4)

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で25,100cells/mL確認されました。また、クリプト藻(魚類に対して無害とされている)の一種と思われるプランクトンが最高で10,400cells/mL確認されました。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	鏡川大橋下	わんぱーくこうち前岸壁	南高校前岸壁
0m	18.2	17.9	18.2
1m	18.0	17.7	18.0
B-1	-	16.3	16.7

表2 塩分

測定水深(m)	鏡川大橋下	わんぱーくこうち前岸壁	南高校前岸壁
0m	21.6	26.9	28.6
1m	28.9	28.9	29.6
B-1	-	33.7	32.8

表3 溶存酸素量(mg/L)

測定水深(m)	鏡川大橋下	わんぱーくこうち前岸壁	南高校前岸壁
0m	9.4	9.7	14.8
1m	8.4	10.2	12.8
B-1	-	6.3	7.8

表4 プランクトン(cells/mL)

採水地点	クリプト藻の一種	ヘテロシグマ・アカシオ
月の瀬橋下	10,400	300
神田川合流点	2,400	0
鏡川大橋下	100	700
わんぱーくこうち前岸壁	0	1,500
南高校前岸壁	0	25,100



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 50,000～cells/ml(魚類等のへい死)
- ・クリプト藻: 魚類のへい死事例無し